

サバイバル！「救命ボード」

プレゼンテーション資料

empowerment PEPNet-Japan
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

研修①お互いを知る
サバイバル！「救命ボード」



1

empowerment PEPNet-Japan
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

課題「救命ボード」

まず大杉先生がサインマームを実演します。
映画を見るような感じでイメージを作ってください。

2

empowerment PEPNet-Japan
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

課題「救命ボート」 ①

- 大嵐で豪華な客船が沈没しました。
- 嵐がおさまると、定員5名の救命ボートが三艇海原に漂っていました。
- それぞれに5名、あわせて10名が乗っています。

3

empowerment PEPNet-Japan
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

課題「救命ボート」 ②

名前	性別	年齢	障害	職業など
川本	男	55	無	次期総理と噂される国会議員
細井	男	46	盲	コンピューター企業の社長、億万長者
三浦	女	63	無	人気歌手、障害児施設に多額の寄付をしている
前田(夫)	男	32	無	航海術のベテラン
前田(妻)	女	30	無	妊娠8ヶ月
松本	女	36	無	看護師
水野	女	36	無	手話通訳士
田中	男	85	無	ノーベル賞科学者(宇宙工学)
木村	女	12	無	富豪の娘
中西	男	24	聾	デフリンピック金メダリスト(レスリング)

4

empowerment PEPNet-Japan
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

課題「救命ボート」 ③

- 救命ボートのひとつはエンジンで走行できますが、もうひとつは走行できません。このままでは全員助からないようです。
- ふたつのボートをつなげることはできません。
- そこで、エンジン付の救命ボートで陸を探そうになりました。話し合いをまとめたのは川本氏です。
- 誰がエンジン付の救命ボートに乗り、誰がもうひとつの救命ボートで残るのが一番良いか、決めてください。

5

empowerment PEPNet-Japan
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

課題「救命ボート」 ④

- 各グループに分かれて、ホワイトボードなどを使って話し合ってください。
- 必ず一人ひとりが話し合いに参加できるように進めてください。
- それぞれのボートの乗員リストと、決め手としたポイントをホワイトボードにわかりやすいように書いてください。

6

empowerment **PEPNet-Japan**
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

課題「救命ボード」⑤

- グループごとに発表します。
- ホワイトボードに書いた内容について、参加者全員に伝わるようにプレゼンをしてください。
- プレゼンは一人でなく何人かで手分けするなど工夫をしてください。
 - 例: 手話で話す担当、ホワイトボードの文章に線を引く担当など...

7

empowerment **PEPNet-Japan**
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

- 本スライドは、以下の研修会のために講師が作成した教材を元に、一部修正の上使用したものです。
- 本教材の著作権はPEPNet-Japanに帰属しています。

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)
「平成23年度 聴覚障害学生エンパワメント研修会」

お互いを知る「救命ボード」
講師: 大杉豊氏(筑波技術大学)

8